

いつも\*



## Refresh

1年1組 学級通信(第13号) R4 9.16

夏休みが明けたばかりでなかなか生活リズムを取り戻せないからか、いつもの元気が見られず心配していました。しかし最近では勉強や運動、太鼓の練習などに集中して取り組む様子が見られるようになり、元気な姿が戻ったようです。2学期は長いので、心身の健康を保つことが一番大切！体力を温存するためにも、帰宅したらやるべきことを効率よく済ませ、早めに就寝できるようご家庭でもお声かけください。

### ～ うねめ太鼓の学習 ～

雄桜祭に向けて、うねめ太鼓の練習が順調に進んでいます。すでに4回の練習が終わりました。講師の先生からは、「こんなに上手な1年生は今までいないよ！」などと褒められてばかりです。さらに、「順調に進んでいるので、雄桜祭には余裕で間に合いそうだね。」とまで言っていただきました。あとは脚の開き方や、腕を上挙げた時のバチとのバランス、そしてお囃子となる大きな掛け声が上手く決まれば、ステキなパフォーマンスを披露できそうです。保護者の方々の期待に添えられるよう、あと6回の練習時間を有効に使っていきます。

太鼓のリーダーを紹介します。

**リーダー：村越 大夢      サブリーダー：藤田 治人      記録 大内 陽**

今元気でシャキっとしたあいさつについてもご指導いただいています。3人のリーダーを中心に、太鼓の演奏だけでなく、気持ちの良いあいさつも身に付けられるよう声掛けしていきます。

### ～ 道徳の学習 ～

1学期から「いじめのない世界へ」という観点を題材にした資料を読んで学習しているのですが、今週はその第3弾の資料、「ふたつの心」を読んで話し合いました。「私」とクラスメートの「サオリ」が主人公の漫画です。いつも自慢したり、無神経なことを言ったり(友達の「ナオ」が傷つけられた)、ぶりっ子したりと、クラスメートに無視されるようになってしまったサオリ。そんなサオリを自業自得と見つめながらも、帰宅するとあいさつすればよかった...と後悔する私。本人とまわりの人間がどう行動すれば、このいじめのある状態を改善できるのか?について班で考えました。以下が話し合いで出た意見です。

「私」…無視していたことについてサオリに謝罪する。/サオリに優しくあいさつする。

/今後どうすればいいかをサオリに指摘してあげる。(陽、大夢、秀真、治人)

「サオリ」…自分の行動を反省して、まわりの嫌がることをしない。

(碧唯、智可良、優臥、夢都)

「ナオ」…自分からサオリに「陸上はやめたくてやめたんじゃないのに、そんなことを言わないで。」と言う。そしてサオリにこれ以上傷つくことを言うのをやめてもらう。

(千尋、稟加、奏騎)

「学級委員」…先生に相談する。(陽、大夢、秀真、治人)

「周りの生徒」…無視をしないで、サオリに話しかける。(陽菜、隼翔、泰雅、光祐)

「先生」…辛そうな生徒の相談にのってあげる。(碧唯、智可良、優臥、夢都)

「保護者」…先生などから聞いて状況を把握し、親同士でも話し合う。

(陽菜、隼翔、泰雅、光祐)

相手の立場になって考えることはなかなか難しく、どうしても自分中心に動いてしまうのが人間の弱さです。サオリは確かに友人から嫌われる言動ばかりしていましたが、根底にあるのは「みんなに自分を見てほしい!自分を良く見せたい!」という、人間なら誰もが持っているような気持ちから出た行動だと思います。しかし、相手の気を引くための方法がちょっと間違っていましたね。いじめをなくすために、これから自分がどんな立場になろうとも、改善に向けた行動につながるよう、様々な立場から考えました。自己アピールの仕方についても勉強になったようです。